

議会報告会会議録

1 開会日	平成29年5月13日(土) 午前10時00分 開会 午前11時30分 閉会
2 場 所	国府支所 2階 第1・2会議室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 鈴木京子議員 (司会進行) 二宮加寿子議員 (平成29年度予算の主な審査内容について) 高橋英俊議員 ( " ) 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 奥津勝子議員 (記 録) 渡辺順子議員 ( " ) 三澤龍夫議員 (会場受付) 奥津勝子議員 ( " ) 清田文雄議員 (マイク設置等) 片野哲生議員 (写真撮影) 高橋英俊議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	23人
5 報告事項	(1) 平成29年度予算の主な審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から予算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 13 回目を迎えた。今回は平成 29 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 29 年度予算の主な審査内容報告

・・・二宮加寿子議員、高橋英俊議員

『議会だよりおおいそ』第 186 号及び議会報告会資料に基づき、平成 29 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問：平成 22 年、町は 2 億円の人件費を削減するために職員数を 260 名にした。再任用職員や任期付職員で不足部分をカバーしようとしているようだが、環境整備が出来ていないため若い職員が辞めていると聞く。議会は、特別委員会を設置し、仕事量などを調査すべきと考えるが。

答：優秀な職員が中途退職している。問題点が多いと考え、先日、実態把握をするよう町側に申し入れを行った。結果によって議会の対応を考えたい。

問：希望に満ち町役場に入職した職員が、中途退職し他自治体に行かれるのは町民として恥ずかしいことだ。町役場を辞め、他自治体に移るということは、どこかに問題があるのではないか。原因究明し、改善してほしい。町、町民、議会も一体となり係るべき。楽しい職場をつくってほしい。

答：御意見はもつともだと思う。議会もしっかりと取り組んでいきたい。

問：平成 28 年度一般会計当初予算は 100 億円を超えていた。平成 29 年度予算が減った理由はどのようなか。

答：（仮称）リサイクルセンター整備事業が最終年度を迎えることなどから減額となっている。

問：タケノコ被害が大きいですが、町内の鳥獣被害はどうか。町は対策を行っているか。

答： 昨年、200 頭以上のイノシシが町内で捕獲されている。町は、平成 28 年度より講習会で被害防止の技術習得等を周知している。今年度は講習会開催のほか、今まで農家だけを対象に電気柵に対する補助を行ってきたが、農地所有者にも対象を広げていくと話している。

### (3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

### ◎主な意見

グループ 1 (町民 4 名・議員 3 名(竹内恵美子議員・関威國議員・奥津勝子議員))

意： 国府地区は道路の舗装状態の悪いところが多い。道路整備を計画的に行ってもらいたい。道路整備の計画も必要ではないか。

意： 大磯町は法人町民税の税収が少ない。税収を上げるために企業を誘致すべきではないか。

意： 日吉跨線橋で老人が転んでいた。橋の勾配もきつく、アスファルトの一部が剥がれている。改善することはできないか。

意： 大磯町は観光立町だけではやっていけないと思う。観光だけではなく防災にもっと力を入れ、住みよい町にすべきと考える。

意： 地域会館の建て替えにあたり財源はどうするのか。自治会の負担はどうか。

意： 大磯城山公園で男性が殴られ死亡する殺人事件が起きた。町民の安心・安全のため、町内の街区公園等の見回りが必要と考えるが。

意： 大磯城山公園駐車場に郷土資料館へ行く為の案内板がなく道順がわからない。案内板の設置が必要ではないか。

意： 町の人口を少しでも増やすためには、もっと若い人たちを大磯町に呼びこむための方法を考えるべき。そのためには教育環境や子育て環境を充実させることが必要と考える。子どもの貧困対策にも取り組むべき。空き家対策も必要。

グループ 2 (町民 4 名・議員 3 名(三澤龍夫議員・二宮加寿子議員・渡辺順子議員))

意： 職員が途中で退職することのないよう、町は職場環境を改めることが大切だと考える。この問題については議会も係り、しっかりと取り組んでほしい。

意： 役場の仕事は 260 名の町職員で行える適正な仕事量となっているのか。仕事量が多いのであれば、町民にボランティアとして協力してもらおう方法も考えられるのでは。また、管理職が若い職員にきちんとアドバイスや指導を行う必要もある。職員にもっと勉強をしてもらいたい。

意： 大磯町役場には労働組合はないのか。

意： 町は人口減少に対し対策はあるか。

グループ3 (町民4名・議員3名(玉虫志保実議員・高橋英俊議員・柴崎茂議員))

意： 人件費の削減、高齢者の健康維持などの面から考え、町としてもっと高齢者を利用する手だてを考えるべき。町は自主的に活動するグループに対しどのような援助を行うことができるのか。町ホームページや掲示板で活動の様子や仲間募集を知らせることは可能か。

意： 檻に入ったイノシシを猟友会が捕まえた場所等で殺傷しているが、人の集まる公園の近くの場合もあり、その度に動物愛護団体がやって来る。地元の畜産業者に持っていき殺処分してもらった方が良いのではないか。イノシシの処分方法を見直すべきだ。

意： 家の周辺にイノシシやアライグマが出没する。農地に対する鳥獣対策だけでなく、民家に対する対策も講じてほしい。

意： 町の空き家対策はどのようになっているのか。隣りが空き家の場合に被害や防犯上の危険などを町はどのように考えているのか。所有者との接触は大変だとは思いますが対策を行ってほしい。

グループ4 (町民4名・議員3名(清田文雄議員・片野哲生議員・鈴木京子議員))

意： 災害対策基本法改正で市町村に義務付けられた避難行動要支援者名簿の作成はどうなっているのか。

意： 現在の災害時要援護者名簿は、消防団や民生委員児童委員などに渡っていると聞くが、自治会には渡されていない。いざというときの情報の流し方の工夫が必要ではないか。

意： 平成29年度予算審査の報告で、県立大磯城山公園「旧吉田茂邸地区」の入場者数が5月7日時点で21,000人を超えたと説明があったが、それは観覧料を支払い入場した人数か。

意： 旧吉田茂邸を成功させるためにはリピーターを如何に獲得するかが重要と考える。飲食する場所も必要。数多くの人たちが何度も繰り返し来ていただくために、県と一緒に工夫してほしい。

意： イノシシ対策は町の単独事業か。県との関係はどのようか。

意： 町が行う公共施設の再配置について、議会としての取り組み状況はどのようか。

意： マリア道整備の進捗状況はどのようか。道路用地として計画している土地をすべて買うことができたのか。

意： 議会報告会で町長と議員の選挙を同時に行うことを提案したことがあるが、その後の取り組み状況はどのようか。

意： 町や議会は、老人クラブ連合会や各地区長寿会の実態をどの位把握しているのか。

意： 老人クラブ連合会として活動するには、資金が必要だ。町からの要望に応えるためにも補助金の増額ができないか。

意： 認定こども園の施設整備にあたり、2億6,100万円が予算計上されているという説明があったが、この金額は建設費に対する補助金なのか。予算の内訳はどのようなか。

#### (4) 閉 会

---

---